

シリーズ「放課後子ども教室推進事業」 初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン掲載）

【第44回】

なかよく すすんで たくましく～ 学び・信頼・交流 ～

新潟県新発田市立二葉小学校長 相馬 重輔

「二葉放課後子ども教室」が始まり3年目を迎えました。毎週放課後、月・水・金曜日の3日間、午後3時から6時頃まで開催しています。

スタッフとしてコーディネーター1名、学習アドバイザー1名、安全管理員1名が、子どもたちの日々の活動を支援しています。

「二葉放課後子ども教室」では「学び」（学力向上の補助）・「信頼」（児童相互の信頼関係の確立）・「交流」（地域との交流）をキーワードに子どもたちの活動が構成されています。

毎回の活動は、子どもたちから選ばれたリーダーの進行で始まります。始めに互いに挨拶を交わし合い、今日のためをを発表し合います。その後、1時間程度の自主学習を行います。最初に宿題を行い、その後、自分の進度に合わせてドリル学習や調べ学習等を行っています。分からないことや困った時はスタッフの方に教えていただいています。

スタッフの方は、子どもたちの意欲を高めるため、子どもたちのよいところを中心にほめるように心がけています。そのため、「二葉放課後子ども教室」を欠席する子どもはほとんどいません。また、参加するようになって学習習慣が身についてきた子どもたちが増えています。

自主学習の後は、子どもたちが楽しみにしている遊びの時間です。月曜日は主に鬼ごっこやドッジボール等集団でおこなう遊び、水曜日と金曜日はバトミントン等個を中心とした遊びをしています。また、月曜日には校区の新発田市ゲートボール協会の方と一緒に、年間13回程度ゲートボールを行っています。ゲートボール協会の方から、飲み込みが早く技能の上達が早いとお褒めの言葉をいただいています。子どもたちの中には、新発田市ゲートボール大会にも出場している子どももいます。また、中学校に進学してからも市のゲートボール協会に所属し、活躍している子どももでています。

このように、「二葉放課後子ども教室」の子どもたちは自主学習や遊びを通して、学習習慣の確立と友達や地域の方とのふれあいの輪を広げています。

（初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン）第148号に掲載）